



道路の父を偲ぶ會 の催

四國循環道路の開鑿が劃せられた時の明治十六年三月高知縣々令となつた田邊輝實は藩閥内閣打倒の主義をかざして此道路問題に絶對反対を爲し三晝夜を通じて討論を行ふた時の自由黨の黨議を打開し遂に徳島高知間を結び付けた。此の歴史的道事業の父と尊ばる田邊縣令を偲ぶ會が過日同縣高岡郡佐川町に催された。當時の人夫頭の懷舊談や田邊知事自ら七百五十圓を出し縣廳の官吏は三百圓を最高とし全員小使に至るまで應分の醸金を爲さしめたなどと

偉人よりも善人に

青年の精神的指導に自ら任じて努力しつゝある岩手縣石黒知事の許に見ず知らずの一青年からの一書が届けられた「……六原道場は人間界の何者をも恐れず自然と共に思ひません、僕はえらい人ですが全部がよい人だとは

思ひません、僕は立派な百姓になりたいのです、六原道場に行くことは家で困りますしかし少しの間家で困つても六原に行つて精神を練る方がいいか、家に居て働いた方がいいか、孝行の道を教へて下さい」との文句があつて、さすがの石黒知事も甚しく感激し暫らく熱淚を禁じ得なかつたとの事である。「家にとどまつて自畜自勵孝養を盡せ」との知事自筆の獎勵書簡を受け取つた一青年の感想や如何、獨善主義の、自己中心主義の、我利我慾主義の旺盛せると思はる現代の裡に斯の如き眞率な第二國民の存在は歡喜に堪へない思ひがする。我等の若き友よ健全に成長せよと祈つて止まね

注
本欄は讀者諸氏の利用に提供す、治安と風俗とを書し又は人身攻撃に涉らざる限り奇想天外的の寄稿を望む、一文は四百字位にて取捨は編輯子に一任、原稿は道路の改良編輯部宛のこと。

次第である。

土木疑獄豫防策奏功

するか

土木疑獄の氾濫は亡國の兆にあらずやと思はせらるるのであるが、全國土木技術者を網羅する土木學會は甚しく夫れに刺撃を受け全面的に規約を作り技術者自身の自省を新にすると同時に一面請負業者側にも呼びかけ其反省戒心を求むこととなつたと傳へらるゝ、今でも遡くはない大々的に力を盡して其の目的の達成に向つて力進せられんことを希ぶものである、由來惡質の技術者なきにあらされど疑獄干係者の多くは無賴着かルーザか無戒心かのとぼしりか然

員からの土木工事を請負制度を以てする間は技術者は斷へず危険界に身を置くものであるから土木事業は直營にすべし」との意見書が全文掲載せられて居る、これも土木疑獄の頻發にショックを受けた結果であらう。直營としてもセメントを飲み砂利を喰ふては疑獄防止は至難だ。斯んな汚濁せる社會では技術者自ら戒め上下の位地を異にしても吾等は互に相助け相戒め職務上の事柄は秘密に付せず話し合ひ所謂協力一致し精神的向上を圖るの外他に一策なきを信ずるものである。

過ぎぬる日青嵐居士の自動車に尾行したヨタ車の窓から「コリヤヒドイ腰の骨が折れそうだ、話をすれば舌が切られる、何んとあきらむるの外なき始末である。「土木」第三十一號に「土木工事と疑獄と題し一會は届かぬ……」との聲が洩れて來た、姫路

道路構造令落第の西 播國道

國產自動車が大量生産され其機能が發揮されても幅員僅かに三米餘大型のトラックは身動きが出来ぬ軍事上産業上的一大障害地點は此處である、而かも背向な曲線は少なくない僅かに四十キロの區間で自動車の走行に三時を要する、それで「我輩は國道である」などと意張られてはたまつたものでない、積載荷物量の制限ガソリンの消費タ



から岡山縣境までの國道とは名ばかりで道路構造令に照らされば全く落第である、

イヤーの損傷など考へさせられては自動車運轉の氣にもなれない、何をおいても改修を行わんことを切望する。

世界はどう動くか

エチオピアの敗北、スペインの内亂も世界の動きが反映した一現象であるが伊太利のムツソリニに導かるヨーロッパシズム、獨逸のヒットラーに指揮されるナチス運動もまた夫れである、國際聯盟はエ伊紛争の解決不能に了りて生ける屍となつた、スペイン内亂では其の起く所は今に於て全く豫測し得ない、其の勝敗何れに歸するもデモクラシーに基いての政府軍派とファシズムに基く革命軍派はスペイン國の存在する限り抗争は絶へないのであらう。而かも戰局の如何は歐洲國際政局に影響を及ぼすべく、革命軍派はスペイン國の存在する事あるなど國際間に於ての見當は一切つきかねるのである、思想上にも政治上にも經濟上にも國際上にも暗雲低迷の状態であるアア世界は如何に動くのか。

世界はどう動くか

る抗日運動、成都事件、北海事件をめぐりての日支交渉は如何に結束するのか焦燥氣分な國民と慢々的氣分な中華國民との懸引

である、更に又ムツソリニ、ヒットラーの獨裁主義な政治はグン〜と伸び行き共産主義乃至ボルセビスマ的な政治は何んとなく萎縮せられて行く觀がある、日英親善が必須的傾向であるが如き認識の下の宣傳が何處からともなく耳に響くが英國の土木相スタノーフの如きは「最近に於ける諸事件は決して日英兩國の親善關係を促進しない、滿洲國が英國政府に對し門戸を閉鎖したり英人兵士が北平で審問を受けたり、

更に印度人夫妻が滿洲國で不幸目に遭つたり寔に不快千萬ではないかと公言した事あるなど國際間に於ての見當は一切つらぬ案すれども思はず、唯此湘南の橋上に浴衣の袖を秋風に吹かれながら天地の力に接したるの瞬間にのみ忘我の境に達した事である、湘南大橋のわれに與へ得ない北支問題は其の歸趣する所が疑はる

湘南大橋

神奈川縣が力瘤を入れた湘南道路は片瀬から大磯にと六七間幅の坦々たる道路で景勝地に別荘地帶に荒蕪地に大蛇の横はるが如き姿を現はして居る、此道路の湘南大橋から秋晴れの富岳を仰けば一しほの秋景を觀す、茂りに茂つた高麗山、坂田山を背景としての近代的な一橋としてまことにふさわしき佳景である、水ゆたかに流るゝ野川の兩岸に洗はるゝ葦、梳けつらるゝが如き川藻、水面に低う飛び交ふ赤トンボ、いづれか秋を語らざる、夏季休學の間に鎌倉で坐禪もくんだ、馬入川に鮎釣も試みた、大磯に逗子に由井ヶ濱に海水浴も、ヨツト乘船も練習した、だが結局は人間の我れに何等の變化も來たさない。顧みれども考へられず案すれども思はず、唯此湘南の橋上に浴衣の袖を秋風に吹かれながら天地の力に接したるの瞬間にのみ忘我の境に達した事である、湘南大橋のわれに與へたる功德は如是。